

## 6. 計画の推進と評価

### (1) 計画の推進

本計画は、「金沢の伝統文化、多様な価値に配慮しながら、食に親しみ、関心を高めることにより、心身ともに健康で生き生きと生涯を送ることができる“ひと”をはぐくみ“まち”をつくる」を理念とし、「食に関して正しい知識と判断力を身につけた市民を育てる」こと、「健全な食生活を習得し、実践できる市民を育てる」ことの2つを目標としました。

この目標は、様々な立場の市民一人ひとりが主役・主体となって行う具体的な行動が、有機的につながることで、社会全体の中で多様な協働を生み、達成されるものと考えます。

それぞれがまず自己の意識改革を進めることにはじまり、加えて、ボランティア活動に積極的な市民や社会的責任に自覚と意欲のある企業・団体等による食育への熱心な活動が期待されます。

本市は、このような市民の皆様の食育への意識、行動、取組について、総合的かつ継続的にその成果が発揮されるよう、計画を具現化した施策を進めることと併せ、食育の取組活動に係る情報、事例等について収集・集積し、広く、効果的な発信に努めます。

さらには、それぞれの取組や活動について、相互にその機能や特性をやりとりし、協働する機会がより多く創出され、大きな成果がもたらされるよう、引き続き、関係機関・団体及び市の関係各部署とも連携し全市的に推進します。

### (2) 計画の評価

本計画は、具現化される各種施策や各団体等における具体的な取組活動等の実践の広がりを推進することを主眼とし、評価については、主体的な活動につながる事業効果を検証することと併せ、国、石川県等の調査結果を踏まえ、計画期間内に集積された現状について、食育推進実践本部の助言等を加え、総合的に行います。

また、情報共有の中で具現化した事業の進捗状況や連携・協働のあり方についても確認します。